

情報リテラシー

SESに限らずIT業界で仕事をする上で気をつけておくべきことがあるので現場へ入る前に覚えておいてください。

ソースコードの取り扱い

自社開発、SES、フリーランスどの働き方であってもソースコードと言った成果物の著作権は所属している会社、契約先の会社に帰属するケースが大半です。

なのでそれをそのまま違う会社で使用、GitHubにプッシュは情報流出となります。

以前、三井住友銀行などのソースコードが流出した事件がありました。

これは三井住友銀行のシステムに関するソースコードを委託先のエンジニアが年収診断を行う為にGitHubへプッシュしてしまった事件です。

[三井住友銀行などのソースコードが流出 “年収診断”したさにGitHubに公開か](#)

こうなってしまった場合、会社を解雇だけでなく損害賠償を請求される可能性もあるので十分に注意してください。

機密情報の取り扱い

たとえばECサイトの運営を行なっている会社で仕事をするとして。

会社で今後下記のようなキャンペーンを打ち出すとします。

- 1日からポイント10倍キャンペーン
- 社員限定のクーポン発行（社内メールにて共有）

これをSNSに投稿、友人・家族へ伝えたとして。

SNSの場合、プライバシー設定をしている、していないにかかわらず広まってしまう。

自分をフォローしている人がプライバシー設定をしている訳ではないのと、だれかが共有すると一気に広まる可能性が高い。

友人・家族へ伝えた場合も第三者に広がる可能性が高いです。

そうすると...

- キャンペーンが始まるまで誰も購入をしない
- 社員以外の第三者にクーポンが不正利用される

と言ったことが発生します。

会社にとっては大きな損害なのでこれも損害賠償が発生します。

貸与品の取り扱い

会社で仕事をする場合、PCやセキュリティカードを貸与されることが多いです。

また、昨今の情勢を踏まえるとリモートで仕事をすることも増えてきました。

その時の取り扱いにも十分気をつけてください。

- 撮影した写真の中にPC画面（ソースコードや製作中の画面）が写っているものをSNSなどに投稿 ⇒ ソースコードの流出のリスク
- 自宅ではなくカフェなどで作業 ⇒ ソースコードの流出のリスク、PC紛失、破損のリスク
- 家族、友人に製作中のソースコードや製作中の画面を見せる ⇒ ソースコードの流出のリスク
- PCが入ったカバンを電車の網棚に置く ⇒ ソースコードの流出のリスク、PC紛失
- PCが入ったカバンを持ったまま食事に行く ⇒ ソースコードの流出のリスク、PC紛失、破損のリスク

こう言ったケースは情報の流出、PCの紛失する可能性が高くなります。

なのでPCを持っている時の行動、リモート作業時の作業環境には十分注意を払ってください。